

TOPICS

- ◆ 第12回のむら復興まちづくりデザインワークショップ(アクション編②)を開催しました
- ◆ 宇和町明間地区(四道)における災害関連緊急治山事業の完成について
- ◆ せいよ復興まちびらきコンサートを開催します！

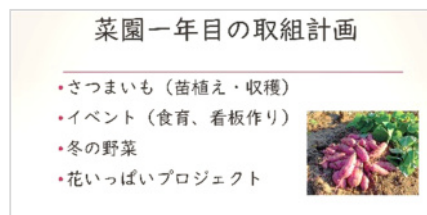
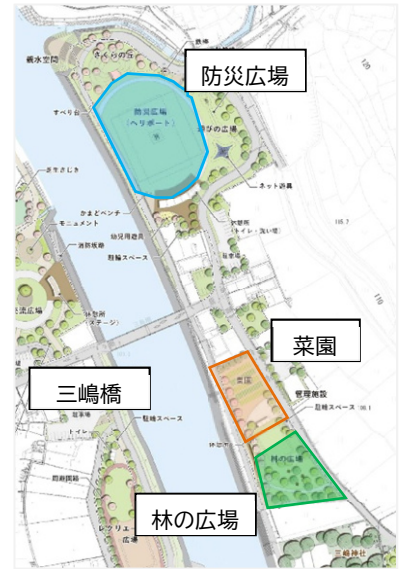
◆ 第12回のむら復興まちづくりデザインワークショップ(アクション編②)を開催しました！

これまでの検討の中で、三嶋橋上流の右岸側(上流からみて)に菜園を整備し、野村高校生が主体となって、古くから野村地区にゆかりのある桑などを栽培することを通して、地域活性化に繋がる利活用を計画していくことなどが話し合われてきました。他のエリアでの利活用と管理の検討をすすめるにあたり、事務局では、活動主体となりうる野村地区の保育所、幼稚園、小中学校を対象に、想定される活動や整備に関してのヒアリングを実施し、その結果から実施設計にどのような部分を反映していくのかについて意見交換を行いました。また、ワークショップの後半では、野村高校生を主体とした社会実験「野村高校菜園共創プロジェクト」についての発表がありました。この社会実験は、現在、机上で検討していることを、整備が完成してから行動を起こすのではなく、できることから実践し、どこまでのことができるのか、また、その範囲を拡大させて、より多くの参加者が関わることのできる仕組みを考えることを目的として実施します。計画は、昨年10月のワークショップにおいて、その構想が発表され、いただいた意見をもとにブラッシュアップが重ねられ、三嶋神社周辺の約2,000㎡の農地を活用し、季節ごとに作物や景観作物を栽培し、栽培過程そのものや、収穫物からの加工品開発などを通じて、地域の活性化を図ろうとするのです。

このプロジェクトは、野村高校を卒業する3年生から、12名の1、2年生へとバトンが引き継がれ、この春から始動します。ワークショップから生まれたアイデアが少しずつ活動へとつながっていきます。「テーブルからフィールドへ」を合言葉に、地域の方々、愛媛大学の協力も得ながら、地域の活性化に向けた取組みを進めていきます。

▶ 実施結果の概要

- ◆ 日時：2021年3月4日(木) 19:00～
- ◆ 会場：野村公民館 3階 ホール
- ◆ 主催：西予市
- ◆ 協力：愛媛大学、東京大学復興デザイン研究体
- ◆ 参加者：49名(野村地区自治会、社会教育団体等の公的団体代表者、市内在住者など)
- ◆ 主な内容：○これまでの振り返りと今回の主旨説明
 - 様々な活動主体への聞き取りからの提案(グループワーク①)
 - 三嶋神社エリアを活用した試行の提案(グループワーク②)
社会実験「野村高校菜園共創プロジェクト」
 - グループワークの発表とまとめ



ヒマワリ



コスモス



▶ 主な意見

【様々な活動主体への聞き取りからの提案】 □…ヒアリング結果 →…ワークショップでの意見
□親水空間の川面まで降りなくとも水と親しむ場所がほしい。

→氏宮川から水を引いて、ホワイトファームにあるような気軽に水と触れることのできる浅い水路を設置する。

→川幅が狭く、流れが緩やかな氏宮川へ降りることのできる階段や遊歩道を設置する。

□感染症対策や川で遊んだ後に手足を洗うことのできる場所や休憩できるベンチが欲しい。

→あっても良い。水場の検討にあたっては、効率的に集約しておくことも重要である。

□防災広場の滑り台は、芝生のまま(段ボールを下敷きに滑る)の天然滑り台にできないか。

→すごく良いアイデアである。芝生への影響を考慮して、複数箇所に設置が必要ではないか。

□菜園での活動に積極的に関わらせてほしい。

→種や苗植えの段階から、保育所、幼稚園の子どもたちとも一緒に行い、収穫作業を保育所、幼稚園、小中高校、地域の大人が一緒になってやることによって、地域の一体化につながるのではないのでしょうか。

□林の広場では、松ぼっくりやどんぐり拾いをしたい。落ち葉などを貼り合わせる遊びのために、形の良い落ち葉が必要である。

【提案：育てる林の広場】

このエリアの整備工事は、約3年先に完成する計画となっており、整備が完了した後がスタートではなく、工事着手前から一人ひとりの手で森を育てていきます。具体的には、どんぐりなどの種の状態から苗を作り、その苗を鉢上げし、各自、お持ち帰りいただき、皆さんに「里親」として、ご自宅や保育所、幼稚園、学校で1年間育てていただく仕組みを使います。その苗を公園が整備された後に、それぞれが持ち寄って植樹します。このことを通して、林がどう育っていくのかを学ぶことができるほか、年月を要しますが、一人ひとりが力をあわせて、見守り育てていくことが、その場所への更なる愛着を育みます。

→市民が育てる森のような形として関わることで、自分たちの森になるような仕組みが良い。

→クヌギは成長が早く、成長後は小学校の生活科でどんぐり拾いをして図工の時間に活用できる。

→クヌギを間伐して、ベンチの材料にする。

→木々にロープを張ってハンモックを吊るすことで、天然の遊具となる。

【三嶋神社周辺エリアを活用した試行について】※主に高校生視点の意見を抜粋

・取り組みが大きな規模になってきていて、この状況を YouTube 野村高校チャンネルで発信し、野村高校を広くPRして、生徒数を増加させるとともに、この取り組みに関わる人数を増やすことに繋げたい。

・小さな子どもから大人までの縦のつながりが、もっと深まってほしいと思う。今日いただいた意見をもとに、今ここにきている野村高校在校生を中心に、何を栽培し、どのようなイベントを開催するか、このプロジェクトの計画を行う。地域の皆さんから様々なことを学びながら、進めていきたいので、一人でも多くの方に協力をお願いしたい。

▶ 今後に向けて

今回のワークショップでは、参加いただいた皆様それぞれが主体的に関わっていただけるという意思が強く感じられました。一人ひとりの前向きな気持ちが重なり合って、三嶋神社周辺エリアを活用した試行の盛り上がりに一層の期待が持たれます。次回ワークショップは5月を予定しており、試行の取り組みについても随時お知らせいたしますので、お誘いあわせて参加ください。



◆宇和町明間地区(四道)における災害関連緊急治山事業の完成について

平成 30 年 7 月豪雨災害による山地崩壊からの復旧を図るため、明間四道地区で行われていた治山工事（災害関連緊急治山工事）が、令和 3 年 3 月 25 日に完成しました。

本工事では、全体で法枠工、土留工（どどめこう）9 基、水路工等が計画され、昨年 11 月までに法枠工と土留工 6 基が完成。今回、残りの土留工 3 基・水路工等の整備が完了し、全体の工事が完成となりました。このことにより、崩壊箇所全体に土留工が施工され、最大斜度約 30 度の急斜面の安定化が図られました。

さらに、工事箇所一面には、今後自然に近い状態にするために植生マットを敷き詰めています。緑化することにより、より斜面の安定化を図っていきます。

四道地区をはじめ、明間地区の皆様には長期間に渡り多大なるご不便をおかけしました。今後も、引き続き、気象に関する情報や市が発表する避難情報には十分にご留意ください。

【完成までの推移】



〈発災直後〉



〈2019 年 (R 元) 11 月〉



〈2020 年 (R2) 11 月〉



〈2021 年 (R3) 3 月完成〉



▲ 近影（下部から）



▲ 土留工



▲ 植生マット

▶ 流末水路改修工事について

治山工事の完成に伴い、今後、同箇所周辺で生じる山水を安全に河川（肱川）に流下させるための水路改修工事を行います。改修にあたっては、地元の方々、改修を行う業者等と協議のうえ工法等を最終決定し施工する計画としています。なお、設計にあたっては、平成 30 年 7 月豪雨を踏まえた設計としております。今後とも工事へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】建設課 ☎ 62-6410

◆せいよ復興まちびらきコンサートを開催します！



新型コロナウイルス感染症の影響により1年間開催を延期していた「せいよ復興まちびらきコンサート」について、感染症対策を徹底の上、令和3年7月4日（日曜）に開催します。

▶ 入場にはチケットが必要です。

【住家に被害のあった方などに優先的にご案内】

感染症対策の一環として、現時点での国等の方針を踏まえ席数を50%に制限をしています。よって、住家が被害に遭われた方・復旧工事等により長期に渡り避難指示の対象となった方に優先的にご案内しています。対象の方には個別にご案内状を送付していますので、鑑賞を希望される方は内容をご確認のうえ期日までにご応募ください。

【応募に関する事項】

- ▶ ご案内状に同封している応募ハガキによりご応募ください。
- ▶ 期日は令和3年4月30日（金曜）〈消印有効〉です・

- ▶ 応募が席数を超える場合は抽選を行います。よって応募者全員が鑑賞できるとは限りません。
- ▶ 6月中旬頃に抽選結果を送付します。当選された方にはチケットを同封します。
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、やむなくイベント自体を中止する場合があります。5月末時点の状況で開催の可否を判断します。

▶ コンサートの概要

- ◆対象：平成30年7月豪雨災害により、住家に対するり災証明書を発行した世帯及び復旧工事等により長期に渡り避難指示の対象となった世帯の方
- ◆日時：令和3年7月4日（日曜） 開場12:30 / 開演13:30 / 終演16:30（予定）
- ◆場所：乙亥会館（野村町野村12-10）※会場周辺に駐車場を設けます。◆席数：約750席
- ◆出演：さだまさし、Yurica。、INSPI

▶ 席数に余裕があれば、市民向けに二次募集を行います。

対象の方からの応募受付終了後、席数に余裕があれば、西予市在住の市民の方を対象として二次募集を行います。二次募集を行う場合の詳細は市ホームページ等で追ってお知らせをします。

▶ 出演アーティストの紹介

◆さだまさし

平成30年7月豪雨直後に来市いただきました。音楽による復興支援をお約束いただいております、今回出演が実現しました。

◆Yurica。（ユリカ）

野村町出身。西予市歌「いつの日も」制作者。ふるさとの復興を願い、継続して様々な支援をしていただいています。

◆INSPI（インスピ）

リーダーの杉田篤史氏は、過去野村の子どもたちと一緒に、オリジナル楽曲「のむらのうた」「のむらからの手紙」を制作。音楽を通じた復興支援にご尽力いただいております。



【お問い合わせ先】 西予市 復興支援課 電話：0894（62）1455